



10月園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/minamisenju2/>



やりたいときができるとき

園長 立石 晃子

先日、9月の誕生会で年長児に「9月ってどんな季節？」と尋ねると、「夜に鈴虫の鳴き声がする」「オシロイバナ(が咲いている)」「キンモクセイっていい匂い」といろいろな発言が聞かれました。子供たちも夏から秋への季節の変化を捉えているところです。

園庭で心地よく過ごせるようになり、子供たちは教師とともに外に出ています。この時期に教師がねらいとしていることは、子供たちが「戸外で体を動かすことを楽しむ」ということです。年少児は、教師と一緒に「ヨーイドン」と園庭の端から端まで走ることを楽しんでいます。年中児は、教師に「見てて！」と登り棒まで連れていき、高く登れるようになったことを見えています。年長組は友達と一緒に宝取り鬼をしたりリレーをしたりして勝敗を楽しんだり、自分や友達の頑張りを認め合っています。教師は、教師や友達との関係性の中で体を動かす意欲を引き出しています。併せて、戸外で遊ぶ時間を十分に確保したり、遊んでみたいと思う運動用具を子供たちの手に取れる場所に置いたりするなど、時間や環境を整えています。

平成14年、杉原 隆 東京学芸大学教授(現:同大学名誉教授)らは、全国規模で幼児運動能力調査を行い、「一斉保育中心で保育をしている園が、自由保育中心の園や両者ほぼ半々の園より運動能力が低い」ことが明らかになりました。「決められた運動を一方向的に繰り返しやられるため、運動遊びに対する子どもの意欲が低下してしまい、自由に遊んでいいときでも活発な運動遊びをしなくなってしまうのではないかと考えられる」「子供が順番を待ったり指導者の説明を聞いたりしている時間が長く、実際に体を動かしている時間も少ない」と考察されています。そして、幼児期は遊びをとおしての指導を基本とする中で、遊びの定義を「『自己決定と有能さの認知』を追求する内発的に動機づけられた状態であるとする立場」と述べています。運動遊びを行う際には、子供たちがその活動をどのような動機で行っているかという内面を知る必要があり、内発的動機付けのある運動遊びが幼児の運動発達を促進させるということです。つまり、やらされている感の強い一斉指導形態の運動ではなく、自己実現や教師や友達との関係性で生まれた「やりたい」気持ちこそが運動発達を促すことにつながるということです。また、中西 昌子 京都市教育委員会学校指導課参与は日本教育新聞に、「幼児を見てみると『やりたい時ができる時』だと思います。

(中略)育てたいのは『運動への意欲』です。と寄稿されています。運動会では子供たちの「やりたい」の心もちが伴った運動遊びの様子を保護者の皆様にご覧になっていただけるよう保育を進めてまいります。

ピクトグラムをつくりました

運動会に向けて年中組の子供たちが色を塗りました。保育室内と当日の入退場門に飾ります。お楽しみに!



楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

みんなで走るの楽しいね！もう一回やろう！

待ちに待った二学期がスタートしました。夏休み明け、友達が登園するのを楽しみにする姿や友達とやりとりをしながら一緒に遊ぶ姿があり、幼稚園で遊ぶことがとても楽しいようです。

今年のなかよし会では、中々会えない祖父母の方とオンラインで対面し、元気いっぱい素敵に踊る姿を披露しました。また、子供たちの成長が感じられる手形にクレヨンでお絵描きをして葉書きを作りました。郵便局前のポストまで歩き、「おじいちゃんおばあちゃんに届きますように」と願いを込めて一人ひとりポストへ投函しました。

園庭では、子供たちが教師や友達に声を掛け、「位置について、よーい、ドン！」の合図で、走ることを楽しんでいます。年中組・年長組のお兄さんお姉さんと走る姿もあり、みんなで一緒に体を動かして遊ぶことの楽しさや気持ちよさを感じられるようになってきています。初めての運動会に、教師や友達と楽しく参加できるように取り組んでいきます。

< 4 歳たんぼぼ組 >

みんなで収穫できたね！やったね！

二学期になり、自分たちの背よりも大きく生長したトウモロコシの収穫を行いました。茎ごと抜こうとするものの、力強く根付いた茎はなかなか抜くことができず、子供たちは「抜けないよ！」と悪戦苦闘です。友達と一緒に「うんとこしょっ！どっこいしょっ！」と言いながら協力したり、力強く根付いた根を抜くためにはどのようにしたらよいのかを考え、道具を使ったりして、自分たちなりに試行錯誤しながら取り組む姿が見られました。友達と一緒に協力しながらやり遂げ、満足感を感じていたたんぼぼ組でした。また、トウモロコシの実を見て、「早くポップコーン食べたいな」と楽しみに待っている子供たちでした。

10月はいよいよ運動会です。みんなで気持ちを合わせて踊ったり、いろいろな動きに挑戦したりしながら、体をのびのびと動かすことを楽しみます。また、身近な秋の自然に触れながら、どんぐりや木の葉を拾ったり、遊びに取り入れたりしながら遊んでいきます。

< 5 歳ばら組 >

友達と一緒に気持ちや力を合わせて取り組むって楽しいね！

夏休み明けで間もなく行われたオンラインなかよし会では、祖父母の方々に何を見せたいか、オンラインでも伝えられることは何かと学級で話し合い、当日は手話を披露したり、伝えたいことを自分で考えて話したりし、大きくなった姿を見せることができました。祖父母の皆様、ご家族の皆様、ご協力ありがとうございました。安心して会える日が早くくることを祈るばかりです。

戸外では宝取りやリレー、長縄や鉄棒に取り組んでいます。自分たちでルールを確認したり、思いやコツを伝え合ったりしながら遊ぶ中で、友達の姿に刺激を受け、自分なりにやってみようとする子が増えてきたり、頑張っている友達を応援したりやり方を分かるように教えたいと考えたりする様子が見られ、それぞれの成長と友達との温かいつながりを感じます。

今月は運動会があります。友達と一つの目標に向かって力を合わせることでやり遂げた達成感や満足感を味わったり、学級のつながりがより深まったりするように援助していきます。